

## 平成31年度予算（観光振興に係る主な事業）について

## 1 市民生活と調和した、観光MICEの推進による経済効果の波及

## (1) 市民生活と観光の調和

市民・観光客の双方の満足度を高めるための環境整備に向けた取組を充実・強化

- 新規・充実** 市バス・観光地等の一部における混雑への対策強化 4億8,500万円  
前乗り後降り方式の導入の拡大に加え、観光客の利用促進に向けた観光系統専用車両（洛バス）の新たな車両デザイン導入の拡大や大型手荷物に対応したバス車両導入の拡大、手ぶら観光の推進やおもてなしコンシェルジュによる交通・観光案内などの取組を推進
  
- 新規** 「とっておきの京都」プロジェクト 5,200万円  
観光による市内全域の活性化と観光地等の混雑緩和に向け、地域の特性に応じたプロモーションや、観光商品の造成支援、観光地経営事業者（DMC）の支援など、多様なエリアへの持続的な誘客を推進
  
- 新規・充実** ロケ地情報の発信強化・作品誘致支援事業 1,700万円  
多様なエリアのロケ地掘り起しや、京都にゆかりのある作品制作を支援するとともに、より詳細なロケ地情報や支援メニューの発信を強化することで、エリアの分散化と更なる誘客を推進
  
- 新規・充実** 「夜観光」の魅力アップによる「宿泊観光」の推進 1億5,600万円  
花灯路行灯の貸出し支援の充実による多様なエリアでの夜の賑わいの創出や「京都・花灯路」の魅力向上など、民間事業者と連携した宿泊観光を推進
  
- 新規** 宿泊施設を核とした地域連携促進事業 400万円  
地域団体等と宿泊施設が取り組む地域活性化事業に対する補助制度を創設し地域連携を促進するとともに、その成果をモデル事例として情報発信

## (2) 観光とMICEの推進による経済効果の波及

市民・観光客の双方の満足度を高めつつ、観光の経済効果を地域経済に波及させる取組を充実・強化

- 新規・充実** 観光・文化コンテンツの発信力強化事業 1 億 2,700 万円

京都観光の重要な情報発信源である京都観光オフィシャルサイトについて、A I を活用した観光案内機能や多言語対応の強化、属性別情報や混雑情報の発信、混雑回避観光経路の作成など、30 年度に引き続き、更なる改修を実施
- 新規・充実** 海外への情報発信強化 4,200 万円

海外情報発信・収集拠点の増設（3 拠点：スペイン、イタリア、アメリカ（カリフォルニア州））や、海外富裕層の更なる誘致に向けた商談会へ市独自に参加、Japan Expo への出展等により本市の多彩な魅力の発信を強化
- 新規・充実** 世界的なスポーツイベントを契機としたおもてなし強化事業 6,800 万円

ラグビーワールドカップ観戦等を機に訪日する外国人旅行者の京都への訪問促進に向け、期間限定の体験型メニューや飲食店等を中心としたキャンペーンの展開、臨時観光案内所を設置するほか、市内事業者等のキャッシュレス・多言語対応等の取組に対する支援を充実
- 新規** 観光関連産業担い手創造・育成プロジェクト 3,700 万円

市外からの担い手を対象とした、効果的なマッチング機会の創出に加え、市内事業者向け従業員定着セミナーや、市内事業者の生産性向上に向けた取組の実施
- 新規** 京都市DMOの推進（マーケティング力強化） 1,000 万円

京都への来訪経験がない人のニーズ、かつてのリピーターの訪問阻害要因及び京都の魅力に対する地域ごとの認識などを調査により把握し、より効率的、効果的に観光客を京都へ誘客するための取組を実施
- 新規・充実** M I C E 国際競争力強化推進事業 5,100 万円

誘致・受入推進体制や誘致活動の充実、海外M I C E 関係者とのネットワーク構築などM I C E 誘致に向けた取組を強化
- 新規** I P C C 総会京都市開催記念事業 500 万円

市民・事業者の協働による地球温暖化対策を更に促進するため、2019 年 5 月に本市で開催される、気候変動に関する政府間パネル（I P C C）総会に合わせ、脱炭素社会の実現に向けたシンポジウムを開催

- 新規** 国際博物館会議（I C O M）京都大会開催（大会開催記念イベント等の実施）  
5,100 万円

世界の博物館関係者が集まる 2019 年 9 月の京都大会開催に当たり、府市協調による大会開催記念イベントや本市独自の関連イベントを実施

- 新規** 「観光と文化をテーマとした国際会議 第 4 回京都会議（仮称）」の開催  
4,500 万円

世界観光機関（U N T W O）及び教育科学文化機関（U N E S C O）により、各国の観光・文化大臣参集の下、観光と文化の連携方策等をテーマとした同会議が開催されるに当たり、京都の文化・観光の魅力を世界に発信する取組を実施

## 2 「世界の文化首都・京都」の実現

- 新規** 祇園祭創始 1150 年記念事業 2,000 万円

祇園祭山鉦連合会等と連携した記念講演や市民公募写真展等の記念事業を実施するとともに、情報誌を活用した PR 等により、広く祇園祭の魅力を発信

- 新規** 二条城おもてなし環境向上事業 1 億 5,600 万円

民間有識者からなる「二条城の価値を活かし未来を創造する会」からの提案を踏まえ、英語版ガイドブックの作成や、未公開文化財の公開・活用に向けた整備、城内園路・通路の改修など、更なる保存とおもてなし環境の向上を推進

- 新規** 新・京都市美術館オープニングプロジェクト 14 億 2,200 万円

31 年度中のグランドオープンに向けた整備等を進めるとともに、オープニングに合わせて、常設展の新設や開館記念展をはじめとする多彩な記念事業を実施することで、レトロからモダンまで様々な形で、京都の「美」を国内外に広く発信

- 充実** 「新景観政策」の更なる進化 2,300 万円

30 年度に設置した「京都市新景観政策の更なる進化検討委員会」での審議を踏まえ、高度地区・景観地区の都市計画を変更するとともに、岡崎や円山公園などのモデル地区において魅力ある夜間景観づくりに向けた社会実験を実施

## 3 京都経済の持続的発展

- 新規** 繊維産業振興事業 2,000 万円

京都経済センター内に開設される「きものステーション・京都」において、きもの相談や伝統文化体験、和装文化の発信等の取組を推進

○**継続** 京都伝統産業ふれあい館リニューアル事業

債務負担設定 (③⑩～③⑪) 2 億 6,500 万円)

伝統産業製品の需要拡大・伝統産業の担い手育成に向け、京都伝統産業ふれあい館の更なる魅力向上や伝統産業製品の販売促進機能の強化を図るためのリニューアルを実施

4 防災・減災・老朽化対策の加速化

○**新規** 近年の大規模災害を踏まえた更なる防災体制の強化 1 億 700 万円

近年の大規模災害への対応の検証等を踏まえ、防災体制を更に強化

<主な取組内容>

(中略)

- ・外国人観光客を含む帰宅困難者への避難情報等の発信力の強化